

平成21年7月30日

各位

上場会社名 ホシザキ電機株式会社
 代表者 代表取締役社長 坂本 精志
 (コード番号 6465)
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己
 (TEL 0562-96-1320)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,000	2,200	2,400	800	11.10
今回発表予想(B)	80,839	4,592	5,608	2,582	35.84
増減額(B-A)	839	2,392	3,208	1,782	
増減率(%)	1.0	108.7	133.7	222.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	4,800	5,200	2,200	30.53
今回発表予想(B)	158,000	7,000	7,500	3,800	52.74
増減額(B-A)	2,000	2,200	2,300	1,600	
増減率(%)	△1.3	45.8	44.2	72.7	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	170,281	9,364	7,144	4,209	65.80

平成21年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	1,400	2,600	1,500	20.82
今回発表予想(B)	25,972	2,165	3,872	2,346	32.56
増減額(B-A)	972	765	1,272	846	
増減率(%)	3.9	54.6	48.9	56.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	3,200	4,900	3,200	44.41
今回発表予想(B)	50,000	3,800	5,400	3,400	47.19
増減額(B-A)	0	600	500	200	
増減率(%)	—	18.8	10.2	6.3	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	54,727	4,371	3,493	2,428	37.96

修正の理由

(1)第2四半期累計期間業績予想数値の修正

当第2四半期連結累計期間における市場環境は、前連結会計年度に端を発した世界的な経済情勢の混乱の影響を受け、引き続き厳しい環境でした。

このような環境の中当社グループにおいては、適正な販売価格の維持とともに、コスト低減、販売費および一般管理費の削減を徹底し、利益の捻出に努めてまいりました。

これにより、連結業績につきましては、連結売上高においてほぼ業績予想の水準の実績となる見込みであります。連結営業利

益において4,592百万円に上方修正となる見込みであります。

また当初の業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、平成21年2月9日の時点では1米ドル＝90円と予想しておりましたが、平成21年6月末の為替レートが1米ドル＝96円となりましたことから、海外子会社への貸付金による評価益等による為替差益672百万円が発生し、連結経常利益において、5,608百万円に上方修正となる見込みであります。これに伴い連結四半期純利益も2,582百万円に上方修正の見込みとなります。

個別業績につきましても、連結業績同様、コスト低減、販売費および一般管理費の削減を徹底いたしました結果、営業利益は2,165百万円に上方修正の見込みであり、経常利益においては、為替差益の発生等に伴い3,872百万円、四半期純利益は2,346百万円といずれも上方修正となる見込みであります。

(2) 通期業績予想数値の修正

第2四半期累計期間業績予想の修正を受け、通期の連結業績予想及び個別業績予想を修正いたします。

当連結会計年度第3四半期及び第4四半期における国内、海外の市場環境は、依然として先行きが不透明な状況であることには変わりはなく、当社にとっても引続き厳しい市場環境が継続すると思われれます。具体的には、国内外におきまして、外食産業の需要停滞に起因する出店の抑制が継続しております。また国内では、例年になく梅雨が長引いていることによって販売数量が増大する夏季の業績に影響が出ると予想しております。しかしながら、これまで継続して取組んできたコスト低減と販売費および一般管理費の削減を継続するとともに、主力製品の拡販等による新規顧客の開拓を推進し販売数量の増大に努めてまいります。

これらに伴い、通期の連結業績予想は、連結売上高におきましては、国内外の市場動向等を勘案し、158,000百万円に下方修正いたします。また連結営業利益は7,000百万円、連結経常利益は7,500百万円、連結当期純利益は3,800百万円に上方修正いたします。

個別業績予想は、営業利益は3,800百万円、経常利益は5,400百万円、当期純利益は3,400百万円に上方修正いたします。なお売上高につきましては、予想の変更はございません。

以上